



遠賀川河川事務所
公式X(旧Twitter)



Facebookページ
知っ得情報！遠賀川
最新情報発信中



NPO法人遠賀川流域住民の会
活動状況発信中



遠賀川河川事務所HPにて
WEB版流域だより配信中



遠賀川河川事務所
公式YouTube



遠賀川流域だより

THE LETTER OF ONGA RIVER BASIN

No.85

2024年3月
発行

チューリップと春風に誘われて



直方リバーサイドパーク(直方市)

2024 Spring

遠賀川流域マップ

春の遠賀川を散歩しよう



遠賀川流域春の花スポット



- 1 香月公園 (北九州市八幡西区)
- 2 垣生公園 (中間市)
- 3 河川敷公園 (直方市)
- 4 犬鳴川河川公園 (宮若市)



- 5 大将陣公園 (飯塚市)
- 6 勝盛公園 (飯塚市)
- 7 碓井琴平公園 (嘉麻市)
- 8 稲築公園 (嘉麻市)



- 9 おおとう桜街道 (大任町)
- 10 丸山公園 (田川市)
- 11 添田公園 (添田町)
- 12 直方リバーサイドパーク (直方市)



- 13 彦山川河川敷の菜の花畑 (福智町)
- 14 吉祥寺 (北九州市八幡西区)
- 15 定禅寺 (福智町)



① 生き物調査隊、野鳥観察

主催：NPO法人 直方川づくりの会



日時 3月31日(日)、4月7日(日)

場所 直方リバーサイドパーク

TEL 0949-22-1810(遠賀川水辺館)

アクセス 九州自動車道「八幡I.C.」より車で約10分、
JR福北ゆたか線「直方駅」より徒歩約20分

※4月以降もめだかの学校として開催しますので、お気軽にお問合せください

② のおがたパンとスイーツと春の河川敷マルシェ

主催：のおがたわくわく実行委員会



日時 4月7日(日)

場所 直方リバーサイドパーク

TEL 070-4035-6645(のおがたわくわく実行委員会)

アクセス 九州自動車道「八幡I.C.」より車で約10分、
JR福北ゆたか線「直方駅」より徒歩約20分

③ 馬見山 山開き

主催：嘉穂三山愛会



日時 5月12日(日) 9:00～

場所 馬見山遥拝所登山口

TEL 0948-57-0172(嘉穂三山愛会事務局/益田)

アクセス 県道440号線を下り左折

④ 遠賀川から花のプレゼント

主催：直方川づくり交流会



日時 5月11日(土)

場所 遠賀川水辺館

TEL 0949-22-1810(遠賀川水辺館)

アクセス 九州自動車道「八幡I.C.」より車で約10分、
JR福北ゆたか線「直方駅」より徒歩約20分

⑤ 川渡り神幸祭

主催：風治八幡宮ほか



日時 5月18日(土)～5月19日(日)

場所 彦山川周辺(田川市大字伊田)

TEL 0947-85-7147(風治八幡宮)

アクセス JR日彦山線・平成筑豊鉄道「田川伊田駅」より徒歩約5分

⑥ 第26回 おんがレガッタ

主催：遠賀町、遠賀町教育委員会



日時 5月25日(土)～5月26日(日)

場所 遠賀川漕艇場

TEL 093-293-1326(遠賀町生涯学習課スポーツ文化係)

アクセス JR鹿児島本線「遠賀川駅」より車で5分

⑦ 香月・黒川ほたる祭

主催：香月・黒川ほたるを守る会



日時 5月25日(土)～5月26日(日)

場所 黒川一帯(石坂橋から梅崎橋付近)

TEL 093-618-2727(北九州市立香月・黒川ほたる館)

アクセス 西鉄バス「錦水橋」下車すぐ

⑧ 宮若ほたるの夕べ

主催：宮若市観光協会



日時 5月下旬

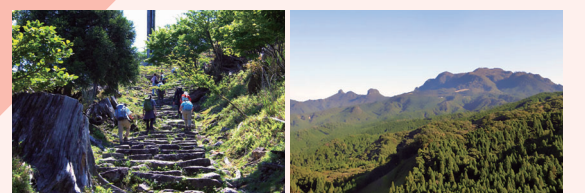
場所 ドリームホープ若宮駐車場

TEL 0949-55-9090(宮若市観光協会)

アクセス 九州自動車道「若宮IC」より県道21号線を福岡方面へ13分

⑨ 第59回英彦山 山開き

主催：英彦山山開き実行委員会



日時 5月下旬

場所 英彦山神宮奉幣殿

TEL 0947-82-1236(添田町まちづくり課)

アクセス JR日彦山線「彦山駅」より西鉄バスで約25分、徒歩約15分



春の

遠賀川一斉清掃

事務局：遠賀川水系水環境保全・再生推進協議会

5月30日は「遠賀川ゴミゼロの日」

毎年5月30日を「遠賀川ゴミゼロの日」として、この日はさむ5月11日～6月10日まで「春の遠賀川一斉清掃」を実施しています。昨年では、2,900人が参加し、約22.2トンのゴミが回収されました。



昨年の様子

主な活動一覧

- 12.29 竹水筒づくり
主催：I LOVE 遠賀川 in 嘉穂実行委員会
- 1.1 若水汲み
主催：I LOVE 遠賀川 in 嘉穂実行委員会
- 1.11 水巻町歴史探訪
主催：響みどりの会
- 1.28 川風うけて天まであがれたこあげ大会
主催：直方川づくり交流会
- 2.3 環境セミナー・ワークショップ
主催：筑豊地区地域環境協議会
- 2.8 浸漬竹炭の撤去と浸漬中に成長した貝類の調査、ホタルの幼虫放流
主催：筈尾川水辺の楽校運営協議会
- 2.10 エコスタいいづか
主催：飯塚市
- 2.14 中島火入れのための防火帯、下草刈り
主催：中島自然再生協議会
- 2.24 遠賀川流域治水シンポジウム
主催：遠賀川流域治水シンポジウム実行委員会
- 2.25 第29回 遠賀町鮭の放流会
主催：遠賀町青少年育成町民会議



Jan. 28

川風うけて天まであがれたこあげ大会

主催：直方川づくり交流会



遠賀川水辺館及び周辺河川敷（直方市）



たこあげ大会が行われ、子ども達は世界に1つだけのオリジナルのたこを作りました！
水辺の川風をうけて、遠賀川の空にたくさんのたこが上がりました。

Dec. 29

竹水筒づくり

主催：I LOVE 遠賀川 in 嘉穂実行委員会

地元で環境活動する「I LOVE 遠賀川 in 嘉穂実行委員会」の皆さんが、「若水汲み」できれいな遠賀川の源流の水をくむ際に使ってもらおうと制作しました。



遠賀川源流の地（嘉麻市）

Jan. 1

若水汲み

主催：I LOVE 遠賀川 in 嘉穂実行委員会



遠賀川源流の地（嘉麻市）

2024年元旦、遠賀川源流で「若水汲み」が行われ、訪れた皆さんが遠賀川源流の若水を汲み、それぞれの自宅に持ち帰っていました。



主催：響みどりの会

Jan. 11

水巻町歴史探訪



水巻町歴史資料館（水巻町）



響みどりの会が歴史探訪として水巻町歴史資料館を訪れ、水巻町の歴史の話を聞きました。特に興味深かったのは、国内でも有名な遠賀川土器や、堀川掘削の歴史、八劔（やつるぎ）神社の大イチョウと砧（きぬた）姫物語、炭坑と石炭産業についてでした。次回は、これらが発掘された現場や跡地などを訪れる予定です。

Feb. 3

環境セミナー・ワークショップ

主催：筑豊地区地域環境協議会



飯塚市中央公民館（飯塚市）



飯塚市中央公民館で、環境セミナー・ワークショップが開催されました。講演では、筑豊の自然を楽しむ会の岸本×太（ばった）氏が、「むし捕りすると賢くなる…かもよ」をテーマに、幼児期に野山を走ったり、むし捕りをすることで感受性が育まれるなど、ユーモラスなお話をいただきました。九州工業大学環境デザイン研究室教授伊東啓太郎氏は、都市における公園や森林などの身近な空間を、「多くの生物が生息できる緑豊かな空間」「子供や大人にとっての快適な空間」「自然環境のすばらしさや知恵を伝える空間」など事例を通してお話いただきました。活動報告では、九州工業大学で研究されている皆さんにご報告いただき、ワークショップでは「環境保全団体における活動の検討」「地域の課題を解決協働の在り方をみんなで考えよう」をテーマに、それぞれグループに分かれて話し合われました。

Feb. 8

浸漬竹炭の撤去と浸漬中に成長した貝類の調査、ホタルの幼虫放流

主催：筈尾川水辺の楽校運営協議会



ゲンジホタルの幼虫



筈尾川水辺の楽校（北九州市八幡西区）

遠賀川河川事務所中間出張所管内安全協議会の皆様の応援で、浸漬竹炭の撤去と浸漬中に成長した貝類の調査を行いました。その後、香月・黒川ほたる館で飼育したホタルの幼虫、約150頭を水辺の楽校のクリークに放流しました。

Feb. 10

エコスタいいづか

主催：飯塚市



飯塚市役所（飯塚市）

飯塚市役所で市内の小中学校や高校、大学、団体などが日々行っている環境保全活動の展示や、ものづくり、体験が行える「エコスタいいづか」が開催されました。飯塚市役所内に子ども達の声が響き渡りました。

Feb. 25

第29回 遠賀町鮭の放流会

主催：遠賀町青少年育成町民会議



広渡小学校近くの西川河川敷（遠賀町）

今年は卵を提供していただいている新潟県で鮭の遡上が少なく、遠賀川では鮭の稚魚の放流は西川のみとなりました。小学校では4校で卵が飼育され、児童たちは育ててきた稚魚との別れにちょっと寂しそうに放流し、川の中で泳いでいる姿を見つめていました。約3,000匹の鮭の稚魚が放流され、放流後はおいしそうな焼きそばが準備され、皆さん嬉しそうでした。

Feb. 14

中島火入れのための防火帯、下草刈り

主催：中島自然再生協議会

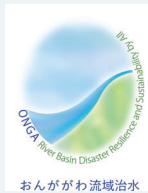
3月10日に行われる「中島火入れ」のための準備として、遠賀川中島で「中間出張所管内安全協議会」の皆さんの協力のもと、下草刈りの作業を行いました。



中島（中間市）

遠賀川流域の未来を考える

～昭和28年6月出水から70年、平成15年7月出水から20年～



おんがわ流域治水

概要 遠賀川流域治水シンポジウムについて

主催：遠賀川流域治水シンポジウム実行委員会
 後援：福岡県、遠賀川流域21市町村、遠賀川改修期成同盟会、遠賀川圏域大規模氾濫減災協議会、林野庁九州森林管理局福岡森林管理者、福岡管区气象台

遠賀川流域において、過去最大規模の被害が発生した昭和28年6月出水から70年、平成以降で最も大きな浸水被害が発生した平成15年7月出水から20年の節目の年となります。遠賀川のこと、これまでの水害、河川改修、まちづくりなどを振り返るとともに、これからの気候変動に対応した遠賀川の流域づくりの一助となり、遠賀川流域が真の流域治水に向けて大きな一歩を踏み出す日にするを目的とし遠賀川流域治水シンポジウムを開催し、当日はおよそ300人の方々にご参加いただきました。



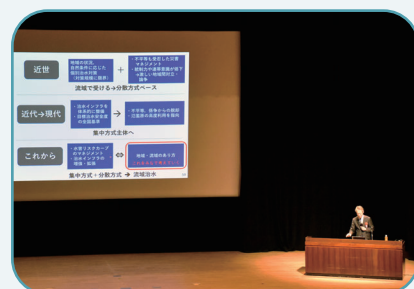
流域治水って何？

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。

出典：https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/01_kangaekata.pdf

基調講演 遠賀川のこれまでこれから

遠賀川流域の特徴と歴史、これまでの治水インフラ整備の重要性と限界、これからの治水のあり方について国立研究開発法人 土木研究所 理事長 藤田 光一様にご講演いただきました。



国立研究開発法人
土木研究所理事長
藤田 光一様

パネルディスカッション

遠賀川の未来～みんなで流域治水～



遠賀川河川協力団体連絡会
浦濱 恵介様



遠賀川改修期成同盟会会長、直方市長
大塚 進弘様



飯塚市長
武井 政一様



防災士
因幡 那水様



遠賀川河川事務所長
伊藤 弘幸様



過去の災害やこれまでの水害に対する取り組みや課題について振り返るとともに、官民のそれぞれの立場から流域治水の推進や遠賀川の未来について議論がなされました。

宣言

流域治水キックオフ宣言



気候変動に伴う降雨量の増大、水害の激甚化・頻発に対して、住民、企業、行政など流域全体で流域治水の取り組みへの推進に向けたキックオフ宣言がなされました。

みんなでなんとかしましょう！



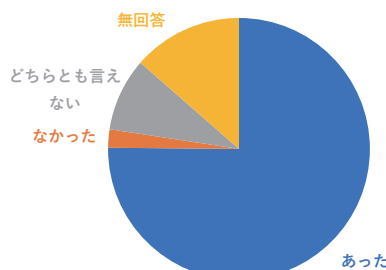
流域治水

アンケート

アンケート集計結果

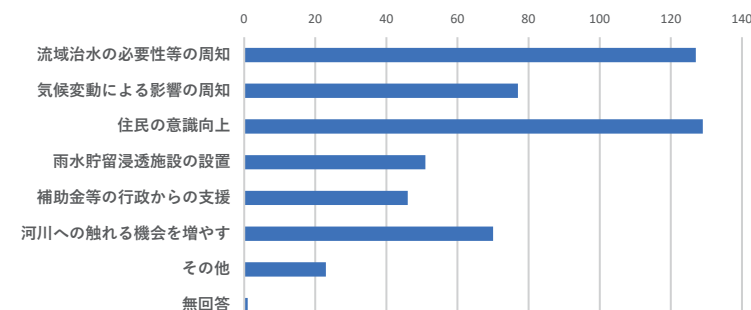
Q、シンポジウムに参加されて新たな気づきはありましたか？

多くの方から「新たな気づきがありました。」との回答を頂きました。



Q、「流域治水」の推進には何が大切だと思いますか？

「流域治水の必要性等の周知」「住民の意識向上」とのご意見が多かったです。



日時

2月24日(土)
イヅカコスモスコモン

環境学習について

遠賀川河川事務所では、遠賀川流域各地で生き物や水質の調査を行う出前講座を行っています。

環境学習の内容について



水生生物調査

川に入って生きものを採集します。そこに住む生きものを見つけるだけでなく、採集した生きもので、川がどのくらいきれいかも知ることができます。



CODパックテスト

河川の上流、中流、下流から採取した水を専用のチューブで吸い上げ、中に入っている薬品と水を混ぜることで色がつき、水のきれいさを知ることができます。



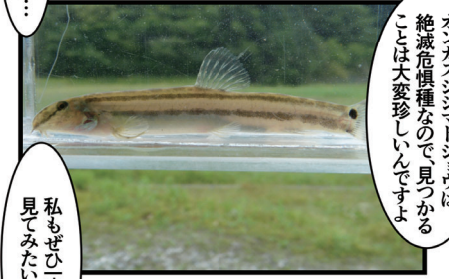
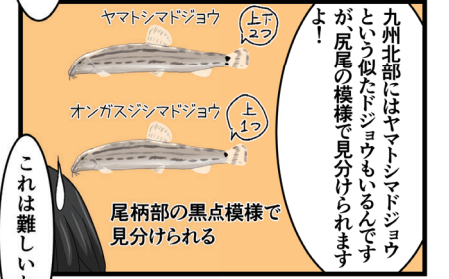
透視度計

透視度は、透き通りの度合いを目で見て計ります。十字板がついた糸を上げ下げして二重線がはっきり見えるところで止めます。数値が高いほど、その水は透き通っているということになります。

遠賀川で見つかった魚たち



オンガスジシマドジョウって何?



※絶滅危惧種のため、もし獲った場合は元いた場所に放流して戻してください。



コウノトリのオス。明るくのんびりしている。生き物と植物が大好きでかわいい。生き物や植物を見つけるとその場所に突っ込む癖があるため、常に髪がボサボサしている。

第100回 なかま川づきあい交流会



祝

なかま川づきあい交流会 100回記念特集

なかま川づきあい交流会は、北九州・中間・遠賀地域の遠賀川及びその支川等にて川に関わる活動をしている人・団体及び行政機関の相互の情報交流を通して、河川環境の向上及びより良い地域づくりを目的に、平成18年10月に発足しました。

交流会の名称は、参加された団体の皆様が同じ立場で、川にかかわる「おなかま」であり、川を通じた「おつきあい」をしていくという趣旨から「なかま川づきあい交流会」と命名されたと言われています。

これまで、交流会に参加いただいた団体は計19団体で、途中参加や退会もあり、現在は11の団体の皆様の参加のもと、偶数月の第3月曜日に交流会を開催しています。

交流会も回を重ね、令和5年12月の開催で節目の100回目を迎えました。100回目の交流会は、現在の参加者や発足当時に参加いただいた方など、幅広くお声がけを行い、基調講演や意見交換など、100回記念として盛大に交流会を開催しました。懐かしい顔ぶれもあり、参加者の皆様も大変喜んでいただける交流会となりました。

これからも、ながーいお仲間づきあいをよろしくお願ひします。



発足時、交流会の様子(平成18年/2006年)



第100回交流会の様子(令和5年/2023年)

なかま川づきあい交流会の主な活動



ナイトリバー (令和5年10月)



堀川現地観察会 (平成19年10月)



中村 凪(ちかし)氏による「母なる川・遠賀川の関わり、地域との関わり」と題した講演



報道関係者との意見交換会 (平成29年11月)